

平成17年10月21日

第106回光応用・視覚技術委員会議事録

光応用・視覚技術委員会  
委員長 関根征士

- . 日 時：平成17年7月8日(金) 14:00～17:00
- . 場 所：日本交通協会第2会議室
- . 出席者：関根委員長、石井、石神、板倉、岡田、高橋、依田、綱脇、山羽(代理 岡野宏)各委員、篠田幹事

. 配布資料

- No.106-01 第105回光応用・視覚技術委員会議事録(案)
- No.106-02 第64回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会(平成17年5月11日開催)議事録(案)
- No.106-03 光応用・視覚技術委員会活動方針(案)及びA部門大会用活動方針ポスター
- No.106-04 A部門の専門領域の見直し(細分化)
- No.106-05 多角的赤外線応用推進技術調査専門委員会解散報告書
- No.106-06 安全・安心のための赤外線技術調査専門委員会設置趣意書
- No.106-07 平成18年全国大会シンポジウム
- No.106-08 活動資金及び研究会活動補助金
- No.106-09 第12回多角的赤外線応用推進技術調査専門委員会議事録
- No.106-10 第4回メディアデバイス・視覚システム調査専門委員会議事録(案)
- No.106-11 Light Sources Workshop
- No.106-12 第1回リソグラフィ先端技術調査専門委員会議事録
- No.106-13 平成17,18年度の活動計画
- No.106-14 光応用・視覚技術委員会名簿

. 議事

1. 前回議事録の確認

配布資料 No.106-01 に基づき、篠田幹事より前回議事録が読み上げられ、承認された。

2. 報告および審議事項

2.1 A部門調査研究運営委員会報告

関根委員長より配布資料 No.106-02 に基づきA部門調査研究運営委員会(5月11日開催)の報告並びに連絡事項などについて、以下のような報告がなされた。

- 1) 共通英文論文誌が平成18年5月より隔月発行し、国際会議の開催後、優れた論文10編程度となる予定である旨の説明があった。
- 2) 国際ジェロントロジー学会に関する活動資金に関連して、活動資金の運用を熟読の上、活動資金の申請をお願いしますとの説明があった。
- 3) 上級会員制度の見直し及びフェロー制度に関して、上級会員は退会の引き留め、フェローは技術への貢献と位置づけている旨の説明があった。
- 4) 多角的赤外線応用推進技術調査専門委員会解散報告書は「平成17年10月末」を「平成

17年9月末」に訂正して、承認された。

5) A部門大会において本技術委員会のテーマ付きセッションの発表件数が6件である説明があった。

## 2.2 本技術委員会活動方針及びA部門大会用活動方針ポスターについて

関根委員長より配布資料No.106-03に基づき活動方針に関して説明があった。また、A部門大会において、各技術委員会の活動方針をポスター掲示する旨の報告があり、国際学会等の広報を行っても良いとの説明があった。

## 2.3 A部門の専門領域の見直し(細分化)

関根委員長より配布資料No.106-04に基づき標記について説明があり、審議した結果、以下のような修正案を関根委員長がe-mailで委員に送り、ご意見を頂くことになった。

- 1903. 「光センサ・赤外線センサ」 「光センサ・赤外センサ・UVセンサ」  
「センシング・モニタリング」 「センシング・モニタリング・イメージング」
- 1904. 「光応用生体イメージング」 「生体イメージング」  
「光学的治療」 「光放射治療」  
「光応用福祉機器」 「福祉関連機器」
- 1905. 「高齢者視覚」 「視覚(心理・認知・生理)」  
「メディアデバイス」 「メディア情報」  
「表示素子」 「撮像・表示デバイス」  
「赤外線イメージャ」 「色再現・色の恒常性」

## 2.4 多角的赤外線応用推進技術調査専門委員会解散報告書

網脇委員より配布資料No.106-05に基づき標記に関して、説明があった。

## 2.5 安全・安心のための赤外線技術調査専門委員会設置趣意書

網脇委員より配布資料No.106-05に基づき標記について説明があり、審議の結果、文面を「安全・安心」に統一することなどの修正を行うことで承認した。

## 2.6 平成18年全国大会シンポジウムのテーマ提案に関して

関根委員長より配布資料No.106-07に基づき標記について説明があった。審議の結果、リソグラフィ先端技術調査専門委員会がテーマ提案する方向とし、赤外線関連の調査専門委員会も検討する方向になった。

## 2.7 活動資金及び研究会活動補助金について

関根委員長より配布資料No.106-08に基づき標記について説明があり、活動資金締め切りの期日の報告があった。また、篠田幹事より平成17年度の研究会活動補助金が10,000円(最低補助額)である旨の報告があった。

## 2.8 調査専門委員会の活動報告

### 1) 多角的赤外線応用推進技術調査専門委員会

網脇委員より配布資料No.106-09に基づき委員会報告がなされた。

第12回委員会は2月3日に開催し、「赤外アクティブイメージングの最近の話題」および「赤外線映像技術の応用(防衛から民生へ)」について講演していただいた。

### 2) メディアデバイス・視覚システム調査専門委員会

岡野委員(代理)より配布資料No.106-10に基づき委員会報告がなされた。

第4回委員会は5月13日に開催し、「視覚系における情報コーディング」について講演していただいた。

### 3) 新しい光源とモデリング・計測調査専門委員会

岡田委員より配布資料 No.106-11 に基づき委員会報告が行われた。

7月4日にレーザ、シンクロトロン放射器に関する見学会を住友重機工業で実施した。

9月13、14日にLight Sources Workshopを愛媛大学で開催予定である。

### 4) リソグラフィ先端技術調査専門委員会

高橋委員より配布資料 No.106-12 に基づき委員会報告がなされた。

第1回委員会は4月22日に開催し、「エキシマレーザ光源開発の現状」および「円柱面へのリソグラフィ技術とその応用」について講演していただいた。

東京支部から超微細リソグラフィ技術調査専門委員会の報告書を利用した講習会開催の依頼があったが、辞退する方向である旨の報告があった。

### 2.9 平成16年度活動報告および平成17年度、18年度の活動計画について

配布資料 No.106-13 に基づき、各調査専門委員会の活動日程の確認を行った。

#### 2.10 本技術委員会の次期委員長について

関根委員長より標記に関して、e-mailにて事前のご連絡したように高橋委員を次期委員長に推薦する旨の提案があり、全会一致で承認した。高橋次期委員長より挨拶があった。

#### 2.11 委員会名簿の確認

配布資料 No.106-14 に基づき名簿の確認を行い、岡田委員の所属を修正した。

#### 2.12 A部門誌英文誌への本技術委員会の紹介に関して

高橋委員より標記に関して説明があり、平成18年1月号に本技術委員会の活動状況を2ページで紹介することになり、4つの調査専門委員会を紹介するために各調査専門委員会に1/2ページ程度で作成していただくこと並びにホームページに掲載することの提案がなされ、承認された。英文誌用の英文版とホームページ用の日本語版の原稿を8月末までに高橋委員に送付することになった。

### 3. 次回委員会について

日時：平成17年10月21日(金)14:00~17:00

場所：日本交通協会第1会議室

以上